

## 世界の主要輸出国の1～7月の生乳生産量は前年比1.1%増、 国際貿易は堅調の一方、中国市場は供給過剰か

### 欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2021年9月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の経済委員会9月会合が、ビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(\*1)では、EUの2021年1～7月の生乳生産量は前年比0.1%減(閏年の調整により、+0.4%の微増)、2021年1～7月の世界の主要輸出国・地域の生乳生産量は1.1%増だったこと、海上サプライチェーンの混乱やEU・英国間の貿易の減少があったにもかかわらず、2021年上半期は乳製品の世界貿易が伸びたことを伝えている。また同報告書は、世界貿易の成長の主なドライバーであった中国市場が供給過剰にある可能性を指摘するとともに、EUではコロナ禍から徐々に日常に戻る中で乳製品の家庭内消費量は減少しているなどの新型コロナによる市場の不確実性、およびサプライチェーンの課題に警戒が必要であるとしている。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った)

MMO 経済委員会の第39回会合は、以下のミルクサプライチェーンの専門家の参加を得て、ビデオ会議で2021年9月29日に開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会)
- CEJA (欧州青年農業者協議会)
- EMB (欧州酪農委員会)
- ECVC (ビア・カンペシーナの欧州組織)
- EDA (欧州乳業協会)
- Eucolait (欧州乳製品輸出入・販売業者連合)
- Eurocommerce (欧州商工会)

会合でのプレゼンテーションと情報交換では、次の点が強調された。

#### EUの2021年の生乳生産量は1～7月は前年比0.1%減、7月は前年同月比0.6%減

EUの牛の生乳集乳量は、2021年7月に2020年同月比で0.6%(-7万8000トン)減少した。フランス、オランダ、ドイツ、ポーランド、スペインを含む18か国のEU加盟国は、生産

量の減少を報告した。2021年1月～7月の累積集乳量は0.1%減少した(閏年であるため、実質+0.4%の微増)。

集乳された生乳全体の4.4%は有機だった(EU加盟国の21か国からの通知に基づく)。有機牛乳の割合が最も高いのはオーストリア、スウェーデン、デンマークであり、最も低い順にポーランド、ポルトガル、エストニアであった。14か国のEU加盟国では、有機生乳の割合は、集乳された全ての生乳の4%未満だった。

2021年1月～7月にはEUのチーズ生産量は2.2%増加した。クリーム(+1.2%)と濃縮乳(+2.8%)でも、プラス成長を記録した。その他の乳製品の生産量は、全粉乳(-11.2%)、脱脂粉乳(-4.3%)、バター(-1.3%)、発酵乳(-2%)および飲料乳(-0.8%)といずれも減少した。この生産量の低下は、輸出用製品の流通にも影響を及ぼしている。

EUの平均庭先(牧場出荷)乳価は、今年はいくつかの期間横ばいになっており、全体としてはわずかに上昇傾向にある。

2021年7月の平均庭先乳価は1キロ当たり35.76セントと報告された。これは、1年前より8.8%高く、過去5年間の7月の平均を11.6%上回る。ただし、これらの価格レベルは、大幅な生産拡大にはつながっていない。2021年8月のEU加盟国の推定値は、1キロ当たり35.97セントへとさらにわずかな上昇を示している(7月と比較して+0.6%)。2か国の加盟国(ギリシャ、フィンランド)では、生乳価格は1年前よりも低かった。

### EUの2021年の年間生乳生産量は0.3%増加を予測、乳製品価格が改善し在庫量は減少

EUの平均乳製品価格はこの4週間で改善し、すべて1年前よりも高くなっている。EUの脱脂粉乳価格は2014年8月以来、全粉乳価格は2014年6月以来の最高レベルに達している。バター価格は2021年の年始以来23%上昇し、脱脂粉乳価格は21%上昇した。バター(-8.2%)をのぞき、ほとんどの乳製品の価格は、この5年間の平均を上回っている。

2021年第3四半期の集乳量は、およそ2020年の水準で安定し、第4四半期にはわずかに増加すると予測される。その結果、2021年のEUの年間生乳供給量の伸びは約0.3%になるだろう。今後数か月で、より多くの生乳がバターとクリームに向けられる可能性があるが、チーズ生産量の伸びは鈍化するだろう。

供給(生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品に基づくEU在庫レベルの評価は、健全な国内消費、良好な輸出量および低い生産量によって、民間の脱脂粉乳在庫量(約7万トン)が一年のこの期間としては非常に低いことを示している。バター在庫量は、小売需要の減少と輸出

量の減少により春には増加し、7月には減少し始めた(現在は約17万5000トン)。年初のチーズ在庫量は適度だった(32万5000トン)が、生産量の増加と英国への輸出の減少により、6月には45万トンを超えた。7月には、季節的な強い需要により在庫が減少した。夏の終わり以来、直物(スポット取引)市場での価格上昇により、すべての乳製品の在庫量が減少してきている。

### 2021年1~7月の主要輸出国の生乳生産量は1.1%増、中国は供給過剰か

米国およびニュージーランドでは、生乳生産量が大幅に増加しており、2021年7月はそれぞれ+2%および+6.6%、1月~7月ではそれぞれ+2.3%および+5.6%増加した。7月には英国およびオーストラリアでの集乳量はそれぞれ-1%および-3.5%減少した。全体として、世界の主要な輸出国・地域(オーストラリア、EU、米国、英国、ニュージーランド)での集乳量は、2021年1月~7月には拡大した(+1.1%)。

海上サプライチェーンの混乱やEU・英国間の貿易の減少があつたにもかかわらず、2021年上半期の世界貿易の伸びはとても力強いものだった。中国がこの成長の主なドライバーであつたが、中国市場は供給過剰だとの報告もある。

EU・英国間の貿易フローは、主として英国のEU離脱前の作業前倒しの反動と物流の制約により、今年は25%以上減少している。米国の追加関税の停止は、特にチーズについて、米国へのEUの輸出量増加に役立った。世界的には、輸送コスト上昇やコンテナ不足に関連する物流上の制約が依然として存在している。

## EU ではコロナ禍から徐々に日常が戻る中で乳製品の家庭内消費量は減少

乳製品の家庭内消費量は、徐々に「ノーマル」な水準に戻ってゆくために減少している。学校やレストランは開いており、テレワークの重要性は低下してきている。フランスでは、市場の細分化と地元ブランドの成功により、有機牛乳の競争が激化している。

欧州委員会は 2021 年の加盟国からの提案応募を受け、EU 農産物プロモーションプログラム(\*2)の最新評価結果を発表した。チーズをプロモーションするために提出された 9 つの提案のうち、5 つが総額 762 万ユーロで承認された。その他の乳製品を販売促進する 3 つの提案も、総額 686 万ユーロで承認された。

生乳生産量は適度であり固形分は少なめであるため、現時点の全体的な需給状況はかなり安定しているようである。ただし、指摘された中国での需要落ち込み、新型コロナ禍による市場の不確実性、およびサプライチェーンの課題には警戒が必要である。

### 参考資料:

- 1) [https://ec.europa.eu/info/sites/default/files/food-farming-fisheries/farming/documents/mmo-report-2021-09-29\\_en.pdf](https://ec.europa.eu/info/sites/default/files/food-farming-fisheries/farming/documents/mmo-report-2021-09-29_en.pdf) MMO economic board meeting report – 29 September 2021. European Commission.
- 2) [https://www.alic.go.jp/chosac/joho01\\_002857.html](https://www.alic.go.jp/chosac/joho01_002857.html)

(資料閲覧:2021年10月5日)

(Jミルク 国際グループ 新光一郎)